

大人の地域再発見誌

vol.14

こうのす

特集「路傍の植物園」

- 2 こうのす人 吉田 誠さん
- 7 編集部のおススメ本「東日本最大級の埴輪工房 一生出塚埴輪窯」
- 8 私の好きなこうのすの風景
- 10 こうのす歴史散歩「松原・小松(まつばら こまつ)」
- 10 編集部より

題字
執筆

第48代 勝願寺住職
藤田得三氏

表紙
写真

鴻巣公園の芝桜とムスカリ

情報誌こうのす「郷土文化」シリーズ

路傍の植物園

雑草にだって名前はある！

～見逃しがちな道ばたの自然に四季を感じて～

花のまち「鴻巣」。街のいたるところに綺麗な花々が植えられ、一年を通して私達の目を楽しませてくれている。一方、河川敷や道端には人の手を借りずに生き続ける植物達がいる。時に雑草と呼ばれ、鑑賞の対象になることは無いが、よく見れば綺麗な花を咲かせるものもある。今回は普段見過ごしがちな道端で生き続ける植物達にスポットライトを当ててみたい。

雑草という名の植物は無い。雑草と一括りにされる植物にもそれぞれ名前がある。植物の名前やその由来を知れば、これまで雑草と思っていた植物にも興味を惹かれ、見るのが楽しくなるだろう。



春の兆し



和名：オオイヌノフグリ
学名：Veronica persica Poir.
分類：オオバコ科クワガタソウ属
花期：2月～4月

ヨーロッパ原産の外来種。花は小さいが、紫色でよく目立つ。まとまって生えている場所は紫の絨毯のようで美しい。和名はイヌノフグリに似て、それより花が大きいことから名付けられた。



和名：ナズナ
学名：Capsella bursa-pastoris (L.) Medik.
分類：アブラナ科ナズナ属
花期：2月～6月

春の七草の一つで若苗を食する。ペンペン草や三味線草の別名の方が馴染みがある。別名の由来は果実が三味線のバチに似ていることから。ペンペンは三味線を弾く擬音が由来とされる。



和名：ホトケノザ
学名：Lamium amplexicaule L.
分類：シソ科オドリコソウ属
花期：3月～6月

3月に入ると市内各所で見られる。まとまった群落は遠目にも目立つ。春の七草の仏の座とは別種であり、本種は食用にはならない。名前の由来は葉の形が蓮座に似ていることから名付けられた。



和名：ヒメオドリコソウ
学名：Lamium purpureum L.
分類：シソ科オドリコソウ属
花期：3月～5月

ヨーロッパ原産の帰化植物。ホトケノザと同じグループでよく似ている。名前の由来はオドリコソウに似て、草丈が小さいことから。ちなみに在来種であるオドリコソウの名前は、花の形を笠をかぶった踊り子に例えたとされる。



和名：フキ
学名：Petasites japonicus (Siebold et Zucc.) Maxim.
分類：キク科フキ属
花期：2月～4月

山菜としてもよく知られる。早春に花茎（フキノトウ）を伸ばして花を咲かせる。フキの名は冬に黄色の花を咲かせるフユギが訛ったとか、葉を便後の尻を拭くのに使ったことから拭きが語源になったとも言われるがはっきりとはしない。



和名：菜の花
学名：Brassica
分類：アブラナ科アブラナ属
花期：3月～4月

菜の花はアブラナ科アブラナ属の花の総称であり、堤防等ではアブラナやセイヨウアブラナその他、修景用に植えられるセイヨウカラシナ等が混在している。アブラナは古くから油を採るために栽培されていたことに由来する。カラシナは種子を芥子の原料とすることに由来する。

春の兆し



和名：オオアラセイトウ
学名：Orychophragmus violaceus (L.) O.E.Schulz
分類：アブラナ科オオアラセイトウ属
花期：3月～5月

中国原産の帰化植物。別名のムラサキハナナの方がよく知られている。和名は葉の手触りがポルトガルの毛織物（ライセタ）に似ていること由来するとされるが、はっきりとはしない。



和名：ハナニラ
学名：Medik.Ipheion uniflorum (Graham) Raf.
分類：ヒガンバナ科ハナニラ属
花期：3月～4月

アルゼンチン原産であり、日本には明治時代に園芸用として入ってきたが、各地で野生化している。名前にニラが付くが野菜のニラとは別の種類である。和名は葉を揉むとニラのような匂いがあることに由来する。



和名：カントウタンポポ
学名：Taraxacum platycarpum Dahlst
分類：キク科タンポポ属
花期：3月～5月

カントウタンポポは関東地方の在来種であるが、最近はヨーロッパ原産の外来種であるセイヨウタンポポが分布を広げており、カントウタンポポは減りつつある。原因として、カントウタンポポは花期が限られ、自家受粉できないのに対し、セイヨウタンポポは季節を問わず開花し、自家受粉できることが挙げられる。カントウタンポポは外総苞片が垂れ下がらないが、セイヨウタンポポは反って垂れ下がることで区別できる。なお、タンポポの和名は茎の両端を細かく裂くと反り返って鼓のような形になることから、鼓を叩いた時の「タンタン、ボンボン」という音が由来との説がある。



和名：セイヨウタンポポ
学名：Taraxacum officinale Weber ex F.H.Wigg.
分類：キク科タンポポ属
花期：通年



和名：シロバナタンポポ
学名：Taraxacum albidum Dahlst.
分類：キク科タンポポ属
花期：2月～5月

別名のカンサイタンポポが示す通り、西日本を中心に分布する在来種。風や流通等の影響で市内でも希に生育しているのを見かけることがある。



和名：タチツボスミレ
学名：Viola grypceras A. Gray
分類：スミレ科スミレ属
花期：3月～5月

日本在来で、北海津から沖縄までの広い範囲に分布し、最も普通に見られるスミレの仲間である。タチツボのツボは坪（庭）であり、身近に見られて立つように育つことが和名の由来とされる。



和名：ヤハズエンドウ
学名：Vicia sativa L.
分類：マメ科ソラマメ属
花期：3月～6月

中東～地中海が原産地とされる帰化植物。別名のカラスノエンドウの方が馴染みがある。ヤハズエンドウの名は小葉の形を矢筈に見立てたことが由来とされる。カラスノエンドウは果実が黒く熟することが由来とされる。



和名：オオジシバリ
学名：Ixeris japonica (Burm.f.) Nakai
分類：キク科ニガナ属
花期：3月～5月

日本の在来種で河原などの湿り気のある土地に生育する。ジシバリは地縛りの意で、地面を這うように根が伸びて地面を縛っているように見えることに由来する。

夏の訪れ



和名：シロツメクサ
学名：Trifolium repens L.
分類：マメ科シャジクソウ属
花期：5月～9月



和名：ムラサキツメクサ
学名：Trifolium pratense L.
分類：マメ科シャジクソウ属
花期：5月～10月

シロツメクサはヨーロッパ原産の帰化植物で、いわゆるクローバーである。ムラサキツメクサはヨーロッパおよび北西アフリカ原産の帰化植物であり、別名のアカツメクサの方が馴染みがある。シロツメクサの茎が地を這うように伸びるのに対し、ムラサキツメクサは茎が立つ。ツメクサの名は江戸時代にヨーロッパから日本にガラス製品を運ぶ際、隙間を埋めるために使われた詰草に由来する。



和名：ドクダミ
学名：Houttuynia cordata Thunb.
分類：ドクダミ科ドクダミ属
花期：5月～7月

日本の在来種。繁殖力が高く、放置すると一面が覆われる。お茶や漢方に利用される。ドクダミの名は毒矯み（毒を抑える）が由来とされる。



和名：ツククサ
学名：Commelina communis L.
分類：ツククサ科ツククサ属
花期：6月～9月

日本の在来種。万葉集にはツククサを読んだ歌が9首あり、古くから親しまれてきた。名前の由来は朝咲いて、午後には萎んでしまう姿を朝露に例えたとする説がある

秋の深まり



和名：ガガイモ
学名：Cynanchum rostellatum (Turcz.) Liede & Khanum
分類：キョウチクトウ科イケマ属
花期：7月～10月

日本在来のもつ植物。カガミあるいはカガミグサとも呼ばれ夏の季語として使われる。名前の由来は諸説ありはっきりとはしない。かつては種子の毛を綿の代用や朱肉に利用した。



和名：ヒガンバナ
学名：Lycoris radiata (L'Hér.) Herb.
分類：ヒガンバナ科ヒガンバナ属
花期：9月中旬

彼岸の頃に赤い花を咲かせる球根植物。園芸品種には白花の種類もある。別名は曼珠沙華（マンジュシャゲ）。和名は彼岸の頃に花が咲くことから名付けられた。



和名：クズ
学名：Pueraria montana var. lobata (Willd.) Sanjappa & Pradeep
分類：マメ科クズ属
花期：8月～10月

日本在来のもつ植物。根を食用の葛粉や漢方の材料とする。和名はかつて大和国吉野川の上流にあった国栖（くず）の地（現奈良県吉野村）が葛粉の産地であったことに由来する。



和名：セイタカアワダチソウ
学名：Solidago canadensis var. scabra L.
分類：キク科アキノキリンソウ属
花期：10月～11月

北米原産の帰化植物。大きなものでは高さ2mを超える。外来生物法により要注意外来生物に指定されている。和名は背が高く、結実した時に綿毛がふわふわとした様子を泡に見立てたとされる。



あとがき

鴻巣市内の道端や河川敷等で見られる代表的な草本類について紹介してみた。主に植物の名前の由来等を中心にして、植物図鑑を開けば書いてある生育場所等については敢えて触れなかった。1年半の取材活動で撮影した種類は50種類を超えている。花が目立たない種類も含めれば100種類以上ある。もちろん気がつかなかった種類もあるだろう。読者自身の足と目で道端で遅く生きている植物達を見つけて、四季を感じて欲しい。本特集がその一助になれば幸いである。（文：高橋 敦）

子授け
安産
厄除け

こうのとりのお宮

鴻神社



〒365-0076 埼玉県鴻巣市本宮町1-9

TEL:048-542-7293 / FAX:048-543-2282

<http://www.koujinja.or.jp>



学校法人 鴻巣佐藤学園

鴻巣幼稚園

園長 佐藤 芳隆

〒365-0038 鴻巣市本町6丁目3番4号（東小学校前）

TEL (048) 541-0575 FAX (048) 543-6222

HP <http://www.kounosu-kg.com/>

f 鴻巣幼稚園

幼稚園専用駐車場完備



なごみのや

NAGOMINOYA

クレアこうのす入口右側

鴻巣市中央 29-1
TEL (048) 540 8080



緑に囲まれた明るい雰囲気のレストラン
店内貸切、パーティー料理や
お弁当のケータリングも承ります

営業時間 11:00～17:00
※17時以降は予約制となります

駐車場
あります

380年の伝統 人形のふるさと鴻巣で最大のお店

ひな人形

宏田屋

TEL: 048-541-8888

鴻巣市人形1-6-18 営業時間 9:00～19:00
定休日:5月～10月は月曜日 11月～4月は無休